

◆日本第四紀学会 2017年大会案内 (第6報)

1. 大会テーマ「第四紀研究の多角的なアプローチ」

2. 開催場所 福岡大学 中央図書館多目的ホールおよび 18号館 2階講義室

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1

<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map>

・福岡大学七隈キャンパスへのアクセス (次ページの地図もご覧ください)

天神南駅から七隈駅または福大前駅まで約16分 (福岡市営地下鉄七隈線)

(地下鉄天神駅と天神南駅は天神地下街を經由して徒歩8分で乗り換え可)

受付：18号館2階玄関広場

口頭発表：A会場 18号館1823教室 B会場 1824教室

C会場 中央図書館多目的ホール

ポスター発表：18号館1826教室および1827教室

懇親会 会場：文系センター棟16階 スカイラウンジ

昼食について：学内の食堂は夏休みのため閉店が多くなっています。七隈駅近くと18号館の西側約200mにコンビニがあります。C会場では食事はできません。お弁当が食べられるスペースを用意します。詳しくは会場にてお知らせします。

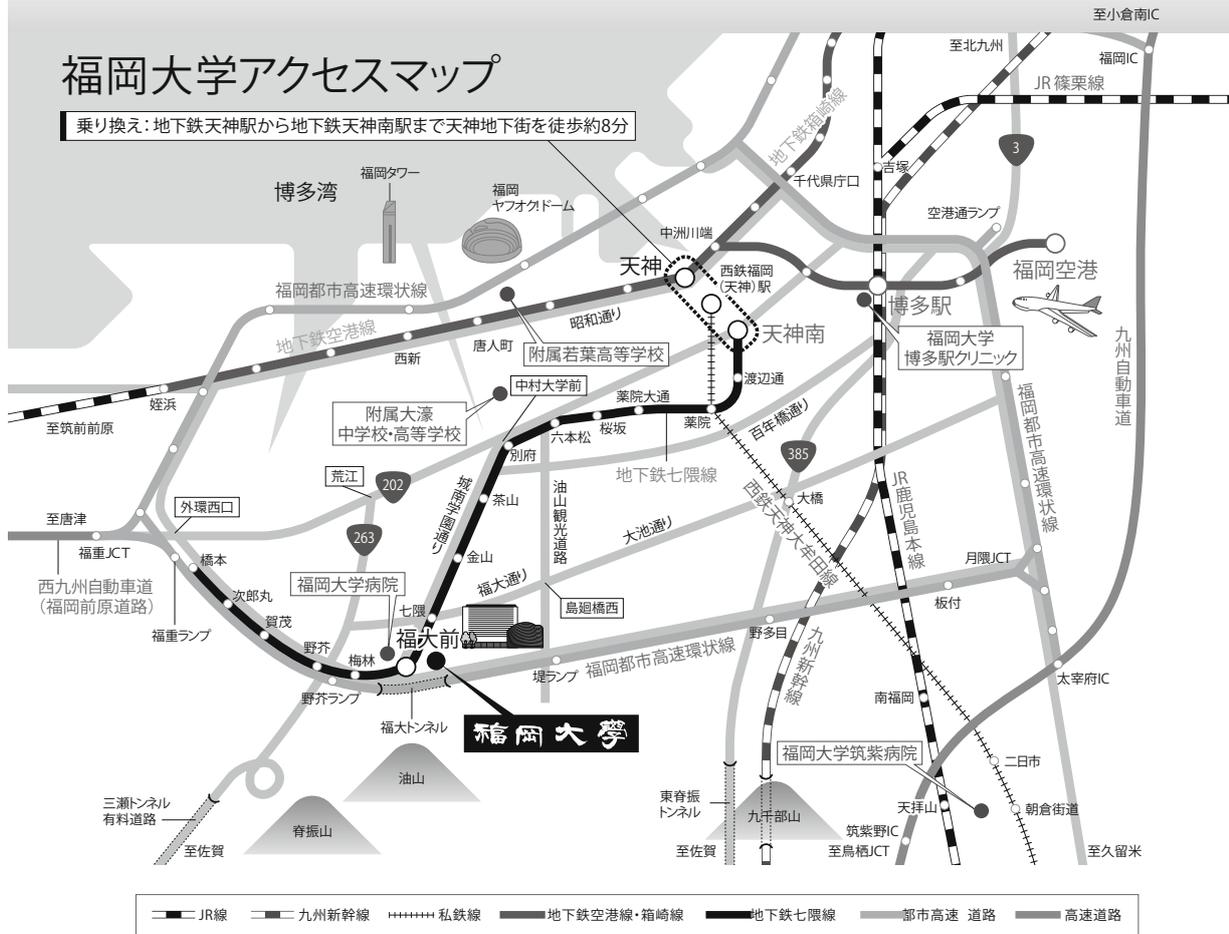
3. 開催日程 2017年8月26日(土)～8月30日(水)

・一般研究発表・シンポジウム 8月26日(土)～28日(月)

8月26日(土)			8月27日(日)		8月28日(月)				
	C会場 中央図書館 多目的ホール		中央図書館 多目的ホール			A会場 18号館1823教室		B会場 18号館1824教室	
AM 1	9:30 - 10:45	セッション 4	9:00 - 11:35	シンポジウム 第一部 「現在の災害研究として の第四紀研究」	AM 1	9:00 - 10:30	セッション 4	9:00 - 10:30	セッション 2
AM 2	10:55 - 12:10	セッション 5			AM 2	10:40 - 12:10	セッション 3	10:40 - 12:10	セッション 2
昼食 (執行部会, 18号館1821教室)			昼食		昼食				
	A会場 18号館1823教室		シンポジウム 第二部 「堆積物や遺跡から読み 取る過去の災害」		12:55 - 13:40 ポスター第二部 コアタイム (18号館1826, 1827教室)				
	B会場 18号館1824教室		12:15 - 16:05 総合討論 「第四紀研究による災害 予測の精緻化」			C会場 中央図書館 多目的ホール			
PM 1	12:55 - 14:40	セッション 4	12:55 - 14:40	セッション 1	PM 1	13:40 - 15:25	セッション 1		
PM 2	14:50 - 16:05	セッション 5	14:50 - 16:05	セッション 2	PM 2	15:35 - 17:05	セッション 5		
PM 3	16:15 - 17:45	セッション 3	16:15 - 17:45	セッション 2					
17:55 - 18:40 ポスター第一部 コアタイム (18号館1826, 1827教室)			16:10 - 18:10 総会・ 各賞授賞式						
18:45 - 20:45 評議員会 18号館1821教室			18:30 - 20:30 懇親会 文系センター棟16階 スカイラウンジ						

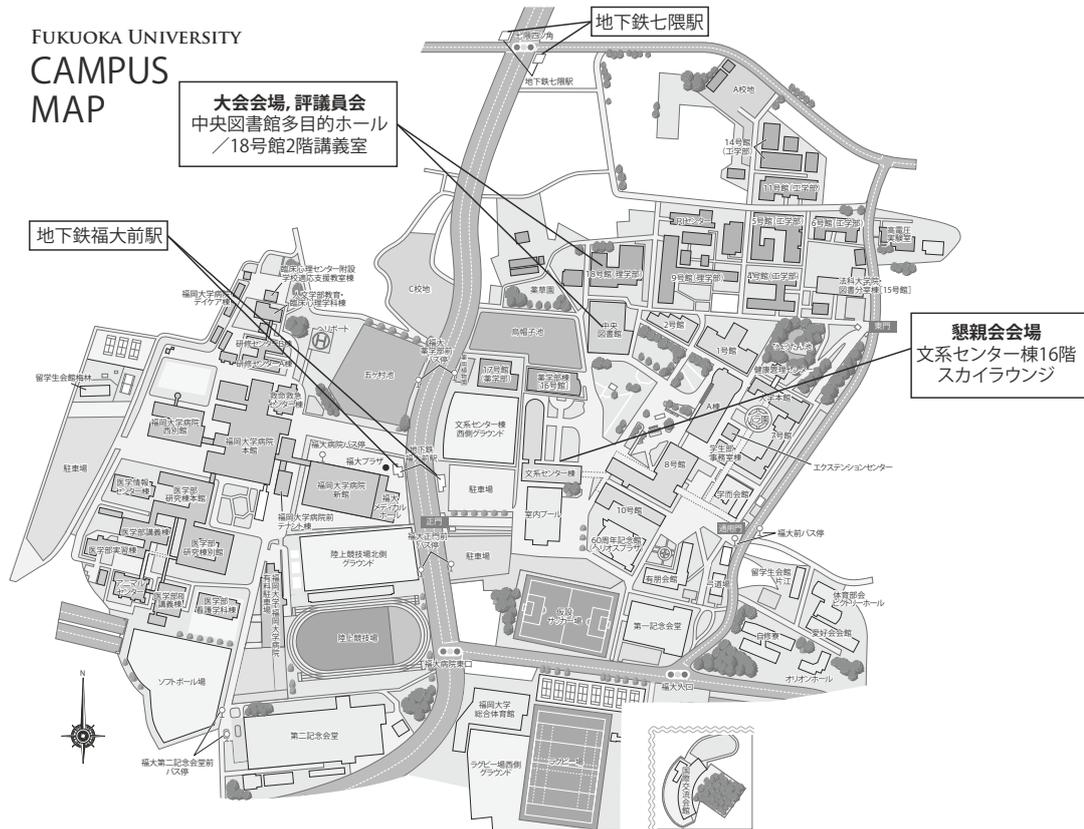
福岡大学アクセスマップ

乗り換え：地下鉄天神駅から地下鉄天神南駅まで天神地下街を徒歩約8分



<http://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>

FUKUOKA UNIVERSITY CAMPUS MAP



大会の一般研究発表(口頭およびポスター)は5つのセッションで開催します。

・**セッション1「大気と海洋」**

共催：樹木年輪研究会、日本 AMS 研究協会

コンビナー：村山雅史(高知大)、七山 太(産総研)、加 三千宣(愛媛大)、浅海竜司(琉球大)

キーワード：a) 気候変動、大気・海洋循環、氷河・氷床、海洋酸素同位体比、地球軌道変化
b) 海水準変動、海底・海岸の地形と堆積物

・**セッション2「陸上の諸プロセス」**

共催：日本洞窟学会、日本堆積学会、日本応用地質学会、日本火山学会、日本ペドロロジー学会

コンビナー：堀 和明(名古屋大)、松多信尚(岡山大)、宮縁育夫(熊本大)、荻谷愛彦(専修大)、井上 弦(神奈川県農業技術センター)、片岡香子(新潟大)

キーワード：a) 地形発達、古地震、構造運動、噴火史
b) 寒冷地域の地表プロセス、土壌、陸水(湖沼、河川、地下水)

・**セッション3「層序と年代」**

共催：樹木年輪研究会、日本 AMS 研究協会、日本堆積学会、日本応用地質学会、日本火山学会、日本ペドロロジー学会、ルミネッセンス研究会、ESR 応用計測研究会、日本フィッシュン・トラック研究会

コンビナー：里口保文(琵琶湖博)、竹下欣宏(信州大)、山田和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム)、下岡順直(立正大)、箱崎真隆(歴博)

キーワード：a) 編年、層序、対比、広域テフラ、年代指標
b) 年代測定(測定方法とその適用事例を含む)、年代決定

・**セッション4「人類と生物圏」**

共催：樹木年輪研究会、日本 AMS 研究協会、日本火山学会、日本ペドロロジー学会

コンビナー：小池裕子(九州大)、米田 穰(東京大)、工藤雄一郎(歴博)、杉山真二(古環境研)、藤木利之(岡山理大)

キーワード：a) 考古、古人類、食性分析、環境適応、人為生態系
b) 動物、植物、生物地理、古生態、植生変化

・**セッション5「現代社会」**

共催：日本堆積学会、日本応用地質学会、日本火山学会、日本ペドロロジー学会、日本地学教育学会、日本ジオパークネットワーク

コンビナー：井村隆介(鹿児島大)、香川 淳(千葉県環境センター)、品川俊介(土木研)、西山賢一(徳島大)、小森次郎(帝京平成大)

キーワード：a) 環境問題、災害、応用地質、工学、地盤、自然改変
b) 地学・地理教育、自然・文化遺産保護、ジオパーク

・**巡検 8月29日～30日**

巡検1「古代伊都国の史跡と第四紀地質」(29日 日帰り)

巡検2「熊本地震関連で巡る熊本～阿蘇」(29～30日 1泊2日)

(詳細は第四紀通信 Vol. 24 No.3 をご覧ください)

4. 参加費・懇親会

・大会参加費：2000円(会員・非会員を問わず)。会場受付でお支払いください。

ただし、大学院生は1000円、70歳以上の会員、学部学生は無料です。

・講演要旨集：予定価格2000円(会場で直接販売)

・懇親会に参加される方は、事前の申し込みをお願いします。

日 時：8月27日(日) 18:30～

会 場：福岡大学 文系センター棟 16階 スカイラウンジ

参加費：一般4000円(予約)、5000円(当日)、学生2000円(予約)、3000円(当日)

予約方法：8月11日(金)までに e-mail : jaqua.event (at) gmail.com までご連絡ください (at を @ にかえる)。申し込み時のメール件名は「懇親会_氏名」としてください。

5. 発表要領

【口頭発表】

・シンポジウム、一般講演発表の発表時間はプログラムをご確認ください。質疑を含む時間ですのでご注意ください。発表時間の厳守をお願いいたします。

- ・会場のプロジェクターへの接続は、講演者ご自身が持参したパソコンを使用してください。コンピュータウイルス対策のためです。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・パソコン持参が難しい場合は、シンポジウム世話人または行事企画幹事(jaqua.event(at)gmail.com)にご相談ください。
- ・OHPはありません。

【ポスター発表】

- ・ポスター発表は8月26日に第一部が、28日に第二部がそれぞれ行われます。第一部の方は26日朝9時から27日12時まで、第二部の方は27日13時から28日17時まで、それぞれ提示することができます。
- ・ポスターボードは幅800mm、高さ1600mmです。
- ・会場は18号館1826教室および1827教室です。コアタイムにはポスターの前にお立ちください。
- ・ポスターは指定されたボードに掲示してください。掲示用具は準備しますので、会場の指示に従ってください。
- ・ポスター会場では、コンピュータ用の電源などは使用できません。

6. 公開シンポジウム

「第四紀研究から防災・減災への多角的なアプローチ」

共催：福岡大学、京都大学大学院理学研究科附属地球熱学研究施設、東北大学災害科学国際研究所

後援：熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

日時：8月27日(日)9時～16時05分

場所：福岡大学中央図書館多目的ホール

第1部「現在の災害研究としての第四紀研究」

座長：黒木貴一・遠田晋次・鳥井真之・中西利典

- S-11 9:00-9:05 趣旨説明……奥野 充・石原与四郎(福岡大)・遠田晋次(東北大)・鳥井真之(熊本大)・黒木貴一(福岡教育大)・中西利典(京都大)・米田 穰(東京大)
- S-12 9:05-9:25 自然災害調査に基づくハザードマップ精度向上の課題……黒木貴一(福岡教育大)
- S-13 9:25-9:45 2016年熊本地震における災害遺産の第四紀地質学……鳥井真之・長谷中利昭・北園芳人(熊本大)・西山賢一(徳島大)・横田修一郎(元・島根大)・奥野 充(福岡大)
- S-14 9:45-10:05 熊本地震に見られる誘発性地震断層とC級活断層……遠田晋次(東北大)・石村大輔(首都大東京)
- 10:05-10:15 休憩
- S-15 10:15-10:45 平成28年熊本地震において生じた宅地地盤災害と地盤特性……村上 哲・平田涼太郎・寺田 陽(福岡大)
- S-16 10:45-11:35 九州のテクトニクスからみた熊本地震……竹村恵二(京都大)
- 11:35-12:15 昼食、休憩

第2部「堆積物や遺跡から読み取る過去の災害」

座長：奥野 充・石原与四郎・米田 穰

- S-21 12:15-12:35 阿蘇カルデラ斜面における斜面崩壊・土石流の発生頻度の推定……西山賢一(徳島大)・鳥井真之(熊本大)・横田修一郎(元・島根大)・若月 強(防災科研)・井上 弦(神奈川県農技センター)・中尾賢一(徳島県博)・星出和裕(熊本県庁)・奥野 充(福岡大)
- S-22 12:35-12:55 群列ボーリング調査と地中レーダ探査による伏在活断層の活動履歴の検討—大分平野西部の府内断層の例—……中西利典(京都大)・木村治夫(電中研)・松山尚典(応用地質)・ホンワン(KIGAM)・堀川義之(元・福岡大)・越後智雄・北田奈緒子(地域地盤環境研)・竹村恵二(京都大)
- S-23 12:55-13:15 開聞岳貞観16年(874年)噴火災害の様相とその対応……成尾英仁(伊集院高)・鎌田洋昭・中摩浩太郎・渡部徹也・西牟田瑛子(指宿市教委)
- S-24 13:15-13:35 三陸海岸における津波堆積物研究……石村大輔(首都大東京)
- S-25 13:35-14:05 鍾乳洞に記録された大規模地震と津波……吉村和久(九州大)・石原与四郎(福岡大)・山内平三郎(沖縄鍾乳洞協会)・島袋綾野(石垣市教委)・片桐千亜紀(沖縄県埋文)・能登征美(九電産業)・天日美薫(九環協)
- S-26 14:05-14:25 津波堆積物の数値モデリングと地震・津波像の復元……菅原大助(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

- 14:25-14:35 休憩
- S-27 14:35-14:55 別府湾における過去 7300 年間のイベント記録とその頻度……山田圭太郎 (京都大)・加 三千宣 (愛媛大)・池原 研 (産総研)・山本正伸 (北海道大)・原口 強 (大阪市立大)・竹村恵二 (京都大)
- S-28 14:55-15:15 湖成年縞堆積物に挟在するイベント堆積物の特徴……佐々木 華・石原与四郎 (福岡大)
- 15:15-15:25 休憩
- 第3部「第四紀研究による災害予測の精緻化」(総合討論)**
- 15:25-16:05 司会：遠田晋次

7. 一般研究発表

●口頭発表

以下のプログラムをご覧ください。なお、プログラムは当日までに若干の修正の可能性があります。受付にて販売される要旨集のプログラムを確認してください。

8月26日(土)		
C 会場 中央図書館多目的ホール		
AM 1	<p>【セッション4】 座長：藤木利之・小池裕子</p> <p>9:30 - C-01 藤木利之(岡山理大)・和田恵治(北海道教育大)・佐藤鋭一(神戸大)・奥野 充(福岡大) ----- 北海道東部、茨城沼のコア試料の化石花粉およびテフラ分析</p> <p>9:45 - C-02 野口真・藤木利之(岡山理科大)・奥野充(福岡大)・鳥井真之(熊本大)・Lyn Gualtieri(シアトル大)・Virginia Hatfield(アリユーション博物館)・Brenn Sarata(フクロNV)・和田恵治(北海道教育大)・中村俊夫(名古屋大)・Dixie West(カンザス大) ----- アリユーション列島中央部、アダック島のハベン湖周辺の植生変遷 ★</p> <p>10:00 - C-03 高原 光・増田 彩(京都府立大) ----- 紀伊半島俱留尊山周辺における最終氷期最盛期から完新世初期の植生変遷—池の平湿原, お亀池湿原堆積物の花粉分析</p> <p>10:15 - C-04 【招待講演】林 竜馬(琵琶湖博物館)・佐々木尚子(京都府立大)・村上由美子(京大博物館)・瀬口真司(滋賀県文化財保護協会) ----- 滋賀県の遺跡における古生態学データベースに基づく森と人の関係史</p>	
	AM 2	<p>【セッション5】 座長：井村隆介・小森次郎</p> <p>10:55 - C-05 【招待講演】長谷義隆(御所浦白亜紀資料館)----- 天草ジオパークにどのように関わっているか</p> <p>11:25 - C-06 森野善広(バシフィックコンサルタンツ)----- ジオパークにおける磯の自然観察</p> <p>11:40 - C-07 井村隆介(鹿児島大)----- ジオパークにおける科学教育プログラム</p> <p>11:55 - C-08 高橋未央・小岩直人(弘前大)・武田 開(国際航業)----- 海成段丘が発達する地域における小学校の防災教育—青森県鰹ヶ沢町の事例— ★</p>
		★:学生発表賞審査対象 ☆:若手発表賞審査対象
		昼 食 12:10~12:55
A 会場 18号館 1823教室		
AM 3	<p>【セッション4】 座長：杉山真二・米田 穰</p> <p>12:55 - A-01 畑中美沙希(東京大)----- 骨コラーゲンの同位体分析によるマダガスカル絶滅種の食性解析 ★</p> <p>13:10 - A-02 河村 愛(大阪市立大)・河村善也(愛知教育大)・張鈞翔・陳彦君・劉克斌・屈慧麗(中華民国・国立自然科学博物館)----- 台湾台中市の完新世後期の遺跡から出土した齧歯類遺体—オニネズミはオランダ人によって台湾に持ち込まれたかのか?— ★</p> <p>13:25 - A-03 小池裕子(九大博物館)----- 九州古墳時代人骨の食性解析から推定された雑穀利用について</p>	
	B 会場 18号館 1824教室	
	<p>【セッション1】 座長：七山 太・浅海竜司</p> <p>12:55 - B-01 【招待講演】鈴木 淳(産総研)----- 海洋酸性化現象のサンゴ及びサンゴ礁生態系への影響</p> <p>13:25 - B-02 横山祐典(東京大)----- 鹿児島喜界島のサンゴ骨格の微量元素に記録された小氷期からの海洋環境情報</p>	

PM 1	13:40 - 13:55	A-04 井上 弦(神奈川農技セ)・杉山真二(古環境研究センター)・大岩根 尚(元 三島村役場)・山中寿朗(東京海洋大)・溝田智俊(元 岩手大)----- 鹿児島県竹島の鬼界アカホヤ噴火以降における黒ボク土の生成	13:40 - 13:55	B-03 浅海竜司・松森建人・石原信司・金城章・大城大輝・成瀬貴・植村立・水山克・伊勢優史(琉球大)・藤田喜久(沖縄芸術大)・坂巻隆史(東北大)・C-C Shen(国立台湾大)----- 琉球列島産硬骨海綿の骨格記録と古海洋環境復元の可能性
	13:55 - 14:10	A-05 小椋 純一(京都精華大)----- 微粒炭データベース作成の試み(2)	13:55 - 14:10	B-04 公文富士夫(高知大)・滝沢侑子(北海道大)・林田明(同志社大)----- 第四紀後期の日本海堆積物におけるTOC濃度変動と暗色層との関係
	14:10 - 14:40	A-06 【招待講演】桑畑光博(都城市)----- 九州における鬼界アカホヤ噴火前後の縄文集落の動態	14:10 - 14:25	B-05 山田皓生(神戸大)・崎山なみ穂(神戸大)北場育子(立命館大)・加藤茂弘(人と自然の博物館)・兵頭政幸(神戸大)----- 大阪湾周辺における中期更新世の気候変化—MIS 11~15の降水量増加 ★
			14:25 - 14:40	B-06 七山 太(産総研/熊本大)・渡辺和明(産総研)・重野聖之(明治コンサルタント)・石井正之(石井技術士事務所)・長谷川 健(茨城大)・内田康人(北総研)・石渡一人(別海町)----- 野付崎バリアースピッツの現行過程の視点から読み解く現在・過去・未来
PM 2	【セッション5】 座長:香川 淳・西山賢一		【セッション2】 座長:堀 和明・苜谷愛彦	
	14:50 - 15:05	A-07 遠藤邦彦・堀 伸三郎・石綿しげ子・須貝俊彦(東京大)・鈴木毅彦(首都大)・上杉陽・大里重人(土質リサーチ)・杉中佑輔(計算力学研究センター)・近藤玲介(皇學館大)・佐藤明夫(東京大)・竹村貴人(日本大) ----- ポーリング資料を活用した東京台地部の中・後期更新世地質断面の再検討	14:50 - 15:20	B-07 【招待講演】早川 裕次(東京大)----- 地上レーザ測量の地形学的活用
	15:05 - 15:20	A-08 研川英征・関口辰夫・吉田一希(国土地理院)----- 2016年熊本地震における液状化及び建物倒壊の分布	15:20 - 15:35	B-08 中村淳路・澤井祐紀・原 淳子・松本 弾(産総研)・松崎浩之(東京大)・篠崎鉄哉(産総研, 現在:筑波大)・谷川晃一朗(産総研)----- 大気中生成Be-10を用いた津波堆積物の起源推定 ☆
	15:20 - 15:35	A-09 安田 進(東京電機大)・村上 哲(福岡大)・永瀬英生(九州工業大) ----- 2016年熊本地震による阿蘇カルデラ内の陥没被害に関するヒアリング	15:35 - 15:50	B-09 池原 研(産総研)・入野智久(北海道大)・竹村恵二・山田圭太郎(京都大)・原口 強(大阪市大)・加三千宣(愛媛大)----- 別府湾最奥部のイベント堆積物の示すもの:どの程度の地震であれば別府湾最奥部にイベント層を形成できるか?
	15:35 - 15:50	A-10 重野聖之(明治コンサルタント)・七山 太(産総研/熊本大) ----- 北海道西部沿岸低地における1959年宮古島台風襲撃時に生じた砂質堆積物の堆積過程と1993年津波堆積物との比較	15:50 - 16:05	B-10 鹿島 薫(九州大)・福本 侑(立命館大学)・Jonathan WOODRUFF(マサチューセツ大学)・原口 強(大阪市立大学)・吉永佑一(防災地質研究所)・箕田友和(九州大) ----- 四国西岸・龍王池および九州天草・池田池(大蛇池)におけるイベント(津波および台風)層準における珪藻遺骸と黄金色藻胞子
PM 3	【セッション3】 座長:里口保文・下岡順直		【セッション2】 座長:宮縁育夫・小林哲夫	
	16:15 - 16:30	A-12 岩野英樹(京都フィクション・トラック)----- 猪牟田-ピクテフラのジルコンU-Pb年代測定とFT年代との比較	16:15 - 16:30	B-11 小林孝行・隅田裕明(日本大)----- 富士黒土層を含む累積性黒ボク土断面におけるベリレンキノン系色素の分布特性
	16:30 - 16:45	A-13 楡井 尊(埼玉自然博)・本郷美佐緒(アルプス調査所) ----- 中部日本における前・中期更新世の花粉尘層序	16:30 - 16:45	B-12 宮縁育夫(熊本大)----- 阿蘇カルデラ北西部, 蛇ノ尾火山のテフラ層序と噴火年代
	16:45 - 17:00	A-14 香川 聡(森林総研) ----- トルク増幅ギヤを用いた成長錐コア自動採取装置	16:45 - 17:00	B-13 奥野 充(福岡大)・小林哲夫(鹿児島大) ----- 噴火史研究からみた桜島-薩摩噴火の可能性
	17:00 - 17:15	A-15 箱崎真隆(歴博)・三宅美沙・中村俊夫(名古屋大)・木村勝彦(福島大)・増田公明(名古屋大)・奥野充(福岡大) ----- 西暦775年炭素14スパイクに基づく白頭山10世紀噴火の年代検証 ☆	17:00 - 17:15	B-14 小林哲夫(鹿児島大)・奥野 充(福岡大)・I Wayan Warmada(ガジャ・マダ大)----- サマラス火山, AD 1257カルデラ形成噴火にむけた前兆的噴火
17:15 - 17:30	A-16 中里裕臣(農研機構)・里口保文(琵琶湖博)・竹下欣宏(信州大)----- 房総半島養老川における上総層群中-下部国本層テフラの再検討	17:15 - 17:45	B-15 【招待講演】井口正人(京都大)----- 桜島へのマグマ供給と噴火発生予測	
17:30 - 17:45	A-17 石村大輔(首都大) ----- 十和田-中楸テフラの火山ガラスの屈折率と主成分化学組成に基づく給源テフラと遠地テフラの対比 ☆			

17:55~18:40 ポスターセッション コアタイム
18号館 1826・1827教室

8月28日(月)

		A 会場 18号館 1823教室	B 会場 18号館 1824教室
AM 1	【セッション4】	座長:工藤雄一郎・山田和芳	【セッション2】
	9:00 - 9:15	A-18 工藤雄一郎(歴博) --- 遺跡発掘調査報告書放射性炭素年代測定データベース作成の取り組み	9:00 - 9:15 B-16 卜部厚志(新潟大)・濱崎真二・小林善也(下関市教委) --- 玄界灘~響灘沿岸の海岸低地の沖積層におけるイベント堆積物
	9:15 - 9:30	A-19 河村善也(愛知教育大)・河村 愛(大阪市立大) --- 岩手県岩泉町ひょうたん穴遺跡下部層の年代-新たな放射性炭素年代と小型哺乳類化石群集から	9:15 - 9:30 B-17 鈴木毅彦・西澤文勝・石村大輔・伊藤美和子(首都大)・丸山誠史・檀原 徹(京都フィッシャーズ・トラック)・平田岳史(東京大) --- 神津島天上山-新島向山テフラの認定・識別に関する再検討
	9:30 - 9:45	A-20 宮田佳樹(金沢大) --- 中国新石器時代初期稲作遺構田螺山遺跡出土土器脂質分析による食性復元	9:30 - 9:45 B-18 北村繁(弘前学院大) --- 中米・エルサルバドル東部地バカヤル火山周辺のテフロクロノジー
	9:45 - 10:00	A-21 西山賢一(徳島大)・柳田裕三(佐世保市)・辻本裕也 --- 長崎県佐世保市に位置する福井洞窟遺跡の地形・地質学的特徴	9:45 - 10:00 B-19 竹下欣宏(信州大)・手島秀一(塩尻小)・土屋美佳(東北中学校)・齋藤武士・高橋 康(信州大) --- 長野県北東部、烏帽子岳西麓における加久藤テフラと火砕流堆積物の発見とその意義
10:00 - 10:30	A-22 【招待講演】 柳田裕三(佐世保市) --- 長崎県福井洞窟における細石刃石器群の層位的変遷と年代	10:00 - 10:15 B-20 須貝俊彦(東京大)・水野清秀(産総研)・高橋尚志・佐々木夏来(東京大) --- 第四紀の海水準変動・養老断層運動・御嶽噴火と濃尾平野の埋積プロセス -とくに御嶽白尾火山灰層との関連に注目して-	
AM 2	【セッション3】	座長:箱崎真隆・竹下欣宏	【セッション2】
	10:40 - 11:10	A-23 【招待講演】 中塚 武(地球研)・気候適応史プロジェクトメンバー --- セルロース酸素同位体比がもたらす気候変動と年輪年代の新しい研究展開	10:40 - 10:55 B-22 小岩直人・高橋未央・柴 正俊・片岡俊一(弘前大)・菊池元良(興和)・横山綾紀(弘前大) --- 青森県屏風山砂丘地帯南部におけるMIS5e以降の海面変動を記録する地形・堆積物
	11:10 - 11:40	A-24 【招待講演】 佐野雅規(早稲田大) --- 酸素同位体比測定法の導入によるモンスーンアジアでの年輪年代学の新展開	10:55 - 11:10 B-23 三浦英樹(極地研)・前辻英明(法政大)・奥野淳一(極地研)・高田将志(奈良女子大) --- 東グリーンランド中央部・スコアズビーランド周辺の貝化石の年代と地形発達史-最終氷期最盛期のグリーンランド氷床復元における意義-
	11:40 - 11:55	A-25 木村勝彦(福島大)・箱崎真隆(歴博)・佐野雅規(早稲田大)・對馬あかね・李貞・中塚武(地球研)・中村俊夫(名古屋大)・奥野充(福岡大) --- 酸素同位体比年輪年代法による白頭山10世紀噴火の年代測定	11:10 - 11:25 B-24 北村晃寿(静岡大) --- 伊豆諸島に見られる海生生物遺骸の固着した「打ち上げ巨礫」
	11:55 - 12:10	A-26 伊藤久敏(電中研)・Danišik Martin(Curtin U.)・大石雅之(立正大)・中里裕臣(農研機構) --- ジルコンのU-Pbおよび(U-Th)/He年代測定から推定される大町テフラの噴出年代	11:25 - 11:40 B-25 苅谷愛彦(専修大) --- 南アルプス七面山の崩壊とAD1096永長東海地震
			11:40 - 11:55 B-26 金 幸隆・長井瑞樹(大阪市立大) --- 熊本地震に伴い阿蘇カルデラ内に生じた大規模亀裂帯の形状と形成場
			11:55 - 12:10 B-27 竹中博士・小松正直・小田 仁(岡山大) --- 地震波減衰トモグラフィから見る2016年熊本地震震源域下の流体分布
昼 食 12:10~12:55			
12:55~13:40 ポスターセッション コアタイム 18号館 1826・1827教室			
		C 会場 中央図書館多目的ホール	
	【セッション1】	座長:村山雅史・加 三千宣	
13:40 - 14:10	C-09 【招待講演】 岡崎裕典(九州大)・池原研(産総研) --- 過去3万年間の日本周辺域におけるテフラ年代に基づく海洋レザバー効果の制約		
14:10 - 14:25	C-10 加 三千宣(愛媛大)・山本正伸(北海道大)・別府湾海底コア研究グループ --- 別府湾海底堆積物の魚鱗記録からみた後期完新世のイワシ類の長期動態		
14:25 - 14:40	C-11 川村賢二・本山秀明(極地研)・阿部彩子(東京大)・ドームふじアイスコアコンソーシアム --- 南極ドームふじ		

PM 1

	氷床コアから探る過去72万年間における気候の不安定性と平均状態の関係
14:40 - 14:55	C-12 村山雅史・山下広大・山本裕二(高知大)・入野智久(北海道大) ----- 北東アラビア海の海洋コアから発見されたeolian-sand turbiditesと古海洋環境
14:55 - 15:10	C-13 兵頭政幸(神戸大)・Balázs Bradák(神戸大)・岡田誠(茨城大)・加藤茂弘(人と自然博)・北場育子(立命館大)・David L. Dettman(アリゾナ大)・林広樹(島根大)・熊澤亘洋(神戸大)・廣瀬孝太郎(早稲田大)・風岡修(千葉県地質環境研)・紫谷榮(島根大)・北村晃寿(静岡大) ----- 千葉セクションの高精度古海洋記録—千年～百年スケールの気候変化
15:10 - 15:25	C-14 阿部彩子・Wing-Le Chan(東京大)・吉森正和(北大)・川村賢二(極地研) ----- 氷期の気候の不安定性に関する気候モデリング

PM 2

【セッション5】

座長：品川俊介・目代邦康

15:35 - 15:50	C-15 豊田徹士(豊後大野市歴史民俗資料館・おおいた豊後大野ジオパーク)・山路康弘(大分県教育委員会)・森井順之(東京文化財研究所) ----- 大分県における磨崖仏研究略史と県南地域での過去の整備例
15:50 - 16:05	C-16 川辺文久(文科省)・加瀬友喜(神奈川大)・田口公則(生命の星地球博)・佐々木猛智(東京大)・守屋和佳(早稲田大) ----- 東京都産トウキョウホタテの保全と活用
16:05 - 16:35	C-17 【招待講演】太田岳洋(山口大) ----- 第四紀火山における応用地質学的問題—主に建設工事を対象として—
16:35 - 16:50	C-18 香川 淳・古野邦雄・楠田 隆・酒井 豊・吉田 剛・風岡修(千葉県環境研究センター) ----- 東北地方太平洋沖地震(2011)による東京湾岸埋立地の液状化-流動化現象
16:50 - 17:05	C-19 品川俊介・矢島良紀・日外勝仁・阿南修司(土質研究所) ----- 土質区分ができるサウンディング調査—土層強度検査棒—

●ポスター発表

8月26日(土) コアタイム 17:55～18:40

(★：学生発表賞審査対象。☆：若手発表賞審査対象)

- P-01 関 有沙(東京大) ……第四紀における日本海底層の酸化還元状態と海洋循環の時代変化復元★
- P-02 堀川恵司(富山大) ……白鳳丸 KH17-3 次航海におけるアラスカ湾でのコア試料採掘と今後の展開
- P-03 野口真利江(パレオ・ラボ) ……関東平野奥部思川低地における MIS8 以降の環境変遷—珪藻分析に基づく☆
- P-04 高橋尚志・須貝俊彦(東京大) ……関東山地における後期更新世テフラ層序とその河川地形学上の意義★
- P-05 泉田温人・須貝俊彦・松崎浩之(東京大) ……茨城県常総市鬼怒川のクレバススプレーを形成した洪水の古水理復元★
- P-06 西澤文勝・鈴木毅彦(首都大) ……中期更新世辺川—笠森5 テフラと関東北部に分布する類似テフラの火山ガラス主成分化学組成の比較☆
- P-07 箱崎真隆(歴博)・木村勝彦(福島大)・佐野雅規(早稲田大)・對馬あかね・李 貞・中塚 武(地球研)・中村俊夫(名古屋大)・大山幹成(東北大)・木村淳一・設楽政健(青森市教委)・小林謙一(中央大)・鈴木三男(東北大) ……東北日本における酸素同位体比年輪年代法の現状と展望☆
- P-08 下岡順直(立正大) ……地表面に露出した考古遺構の OSL 法による年代推定の可能性☆
- P-09 宮入陽介(東京大)・石澤亮史・後藤和久(東北大)・横山祐典(東京大) ……泥炭試料のウイグルマッチング法を用いた津波堆積物の高精度年代決定
- P-10 檀原 徹(京都フィッシュン・トラック) ……FT および U-Pb ダブル年代測定の実用と解釈
- P-11 藤木利之(岡山理大)・北川浩之(名古屋大)・西秋良宏(東京大) ……ウズベキスタン・アンギラク洞窟の中期旧石器時代層の花粉分析
- P-12 野口 真(岡山理科大)・藤木利之(岡山理科大)・奥野 充(福岡大) ……アリューシャン列島、ウナラスカ島北東部の Iliuliuk 川上流泥炭層の花粉分析★

- P-13 菊地有希子 (パレオ・ラボ)・菊地 真 (神戸大)・余語琢磨 (早稲田大) ……復元水田を用いた実験考古学的アプローチ：弥生時代の米収量の推定研究について
- P-14 米田 穰 (東京大)・大森貴之 (東京大)・工藤雄一郎 (歴博)・柳田裕三 (佐世保市教委) ……長崎県佐世保市福井洞窟における土器出現年代の評価
- P-15 杉中佑輔 (計算力学研究センター) 遠藤邦彦・石綿しげ子・堀田文雄 (アサヒ地水探査)・須貝俊彦 (東京大)・堀 伸三郎 ……ボーリング資料を活用した東京台地部の東京礫層の空間展開☆
- P-16 磯 望 (西南学院大)・黒木貴一 (福岡教育大)・下山正一 (佐賀大) ……2016年熊本地震による益城町木山地区の建物被害の特徴－建物傾斜方向を中心に－
- P-17 岡崎浩子 (千葉県中央博)・郭 榮珠 (土木研)・朴 鍾杰 (東京情報大)・中里裕臣 (農研機構)・田村 亨 (産総研)・伊藤一充 (産総研) ……更新統香取層調査－UAV (Unmanned Aerial Vehicle) の地質調査への適用の
- P-18 船引彩子 (日本大)・瀬戸真之 (福島大)・安藤広一 (日本大) ……猪苗代盆地南部で掘削されたボーリングコアについて試み

8月28日 (月) コアタイム 12:55～13:40

- P-19 鎌滝孝信 (秋田大) ……1983年日本海中部地震津波浸水域周辺にみられるイベント堆積物
- P-20 木村克己 (防災科研)・花島祐樹 (SmartSolutions)・西山昭一 (応用地質)・大井昌弘 (防災科研) ……東京低地の三次元地盤モデルと伏在第四紀断層
- P-21 堀 和明 (名古屋大) ……曾文溪河口域の開析谷充填堆積システム
- P-22 長谷義隆・廣瀬浩司 (御所浦白亜紀資料館)・鶴飼宏明 (天草ジオパーク)・川路芳弘 (錦ヶ丘中学校) ……完新統から見える天草地域の活構造 (予察)
- P-23 筒井正明 (ダイヤコンサルタント) ……雲仙普賢岳 1990-1995年噴火に伴う降下火山灰の20年間の層厚・密度変化
- P-24 奥野 充 (福岡大)・Agung Harijoko・I Wayan Warmada (ガジャ・マダ大)・渡邊公一郎 (九州大)・中村俊夫 (名古屋大)・田口幸洋 (福岡大)・小林哲夫 (鹿児島大) ……ブヤンーブラタンカルデラの後カルデラ火山地形と完新世テフラ層序
- P-25 小森次郎 (帝京平成大) ……モレーン堰き止め型氷河湖の湖盆形状
- P-26 水野清秀 (産総研)・百原 新 (千葉大)・本郷美佐緒 (アルプス調査所)・佐藤善輝 (産総研) ……西日本に分布する中部更新統中の MIS11 層準の認定
- P-27 佐藤善輝・水野清秀 (産総研)・久保純子 (早稲田大)・細矢卓志・森田祥子・加賀 匠 (中央開発) ……相模平野南西部における第四系地下地質とその年代
- P-28 里口保文・芳賀裕樹 (琵琶湖博) ……琵琶湖南湖の草津川河口沖湖底堆積物の堆積相と堆積速度
- P-29 伊藤一充・田村 亨 (産総研) ……青森県上北平野周辺海成段丘堆積物のルミネッセンス年代測定と隆起速度評価
- P-30 加藤輝隆・石黒娑友里 (横浜薬科大)・松浦崇遠 (富山県農林水産総合技術センター) ……食害痕の多い円盤試料の年輪解析－立山美女平のオンバスギ落枝－
- P-31 中西利典 (京都大)・堀川義之 (元福岡大)・奥野 充 (福岡大)・ホンワン (KIGAM)・パク ギュジュン (KIGAM)・佐藤鋭一 (神戸大) ……隠岐諸島におけるテフラ認定と放射性炭素海洋リザーバー効果
- P-32 中村俊夫・南 雅代 (名古屋大)・奥野 充 (福岡大学) ……火口周辺に生育する植物試料の¹⁴C年代に対する火山噴気の影響
- P-33 佐藤 剛 (帝京平成大)・木村 誇 (防災科研)・納谷 宏・林田 昇 (明治コンサルタント)・後藤 聡 (山梨大)・小森次郎 (帝京平成大) ……阿蘇カルデラにおけるテフラ被覆斜面堆積物の重力変形構造と動的観測計画
- P-34 目代邦康 (日本ジオサービス) ……一般書からみた第四紀学におけるサイエンスコミュニケーションの系譜

8. 大会実行委員会

実行委員：石原与四郎 (福岡大)・磯 望 (西南学院大)・下山正一 (佐賀大)・黒木貴一 (福岡教育大)・小池裕子 (九州大)・小森次郎 (帝京平成大)・米田 穰 (東京大)

連絡先：2017年大会実行委員会事務局 〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1
福岡大学理学部地球圏科学科 火山・有機地質研究室 (TEL：092-871-6631 内線 6289)

大会用メールアドレス：jaqua.event(at)gmail.com (at を @ にかえる)